

「特殊入浴装置ハートフル」

大阪の特養で導入

ヤエス（香川県高松市）の「特殊入浴装置ハートフル」は、介護施設などでの寝浴・車いす浴の両方を一台で対応できる入浴装置。同品のコンパクト版「ハートフルE」は、従来機種に比べ約20%の小型化に成功し、浴室のスペースが限られていても寝浴と車いす浴両方に対応できる。両機

種は専用ストレッチャーや専用車いすとともに、介護労働環境向上奨励金の対象となっている。

大阪府八尾市の社会福祉法人幸福会では、2004

年8月に全室個室の特別養護老人ホーム「しあわせの郷」へ、11年4月には地域

「しあわせの郷」は、設計士の方に勧められて、初めて知りま

しあわせの郷では、ユニットごとに介護対応のユニットバスを設置してい

「ハートフル」の導入は、初めて知りまし



一般浴槽に設置された「ハートフル」

「将来的にご利用者様の介護度が上がる



施設長の坂上昌弘さん(左)と介護職員の森田務さん

で、利用者の快適な入浴と介護職員の負担軽減の両方を実現できている様子だった。

同社の入浴装置は、ハンドル操作一つで浴槽の出入り時に、リフト昇降が簡単に安全に行える。短期間で機械操作に慣れることができ、入浴介助に集中できる。ストレッチャーや車いすは浴室内専用のものを使用するため、利用者が乗ったまま入浴しても、車輪部周辺の汚れが浴槽のお湯に混ざる心配がない。また新湯式、循環過式を採用しているの

「実際に使ってみると、リフトの昇降時に宙に浮くような感覚がなく、身体が地についているような感じ。安心して好評を得ています。地域密着型の特養では、ハートフルを個室と同じ浴室に設置、ストレッチャー浴に対応できるため、とても喜ばれています」と話す。ハートフルの導入まで。

問い合わせは同社 ☎0120・475・829